

平成29年度 構造設計1級建築士 総合 対策講座【日曜コース】日程表(5月開講)

●早期受講

・先行講座(構造設計1の「構造力学」(3時間))を平成28年7月上旬より先行受講可能

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 7月 月上旬～	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(7時間)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 10月 下旬～	1時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		1時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		1時間		構造設計の基礎、構造計画等	
4		1時間	各種構造・材料	鉄骨造	
5		1時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1時間		基礎構造	
7		1時間		木造、その他の構造等、建築材料	

●構造設計1級建築士 総合 対策講座 (平成29年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
	5月開講				
1	5/14(日)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1 ガイダンス 倫理1・2(構造設計者の心構え 他) 構造力学(トラス/振動・剛性マトリックス 他) 災害1・2(地震と基準線の制定・改定)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
2	5/21(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2 荷重(地震力/風圧力/積雪/土圧/特殊荷重)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した 講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 復習テスト
3	5/28(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3 構造計画・構造設計1~5(構造的バランス、非構造材の耐震性 他) 建築材料(鋼材/コンクリート/木材) 木造1~5(N値法、壁量、床倍率 他)	
4	6/4(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4 鉄骨造1~4(筋かいディテール、終局時 他) 鉄筋コンクリート造1~3(Ds算定時部材ランク、終局時 他) 鉄筋コンクリート造4(終局時の計算)	
5	6/11(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2(累加強度 他) 免震・制振・その他1~5(アイソレーター、ダンパー 他) 土質・地盤・基礎1・2(液状化、杭 他) 耐震診断・耐震補強	・黄色本活用ポイント を網羅して確認。 演習で解答力アップ 演習テスト 復習テスト
6	6/18(日)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6 構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習	
7	6/25(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1 ガイダンス 許容応力度計算1~4(荷重外力、応力計算、使用上の支障) 耐震二次設計1・2(RC造の耐震計算ルート 他) 保有水平耐力計算1・2(崩壊荷重の計算 他)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
8	7/2(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2 保有水平耐力計算3~5(S造・RC造の保有水平耐力計算) 基礎構造1~3(地盤、杭、直接基礎)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した 講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 復習テスト
9	7/9(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3 鉄骨造6・7(柱脚、冷間成形角形鋼管 他) 鉄筋コンクリート造1~3(剛性、靱性、ピロティ 他) 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2(耐力、各部の設計 他) 免震構造・制振構造(減衰 他)/限界耐力計算/非構造部材 経験記述(構造設計業務についての記述)	・本考査の予想問題での 実戦形式演習と添削で、 中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり
10	7/16(日)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1) 平成29年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説 平成29年度模擬修了考査(1)(構造設計)演習・解説	
11	7/30(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計7 平成25年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニング を過去修了考査問題を利用して行い、 実戦力を高める
12	8/6(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計8 平成26年度修了考査(構造設計)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と 記述答案、計算手順の修正を図る
13	8/13(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計9 平成27年度修了考査(構造設計)演習・解説	・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
14	8/20(日)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計10 平成28年度修了考査(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニング を過去修了考査問題を利用して行い、 実戦力を高める
15	8/27(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4 平成25年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と 記述答案、計算手順の修正を図る
16	9/3(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5 平成26年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
17	9/10(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6 平成27年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニング を過去修了考査問題を利用して行い、 実戦力を高める
18	9/17(日)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7 平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と 記述答案、計算手順の修正を図る
19	10/1(日)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2) 平成29年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説 平成29年度模擬修了考査(2)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での 実戦形式演習と添削で、 到達度確認と最終修正を図る 添削あり

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

9月(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10/15(日)(予想) 構造設計1級建築士講習 修了考査

平成29年度 構造設計1級建築士 総合 対策講座【水曜コース】日程表(5月開講)

●早期受講

・先行講座(構造設計1の「構造力学」(3時間))を平成28年7月上旬より先行受講可能

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 7月 上旬~	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(7時間)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 10月 下旬~	1時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		1時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		1時間		構造設計の基礎、構造計画等	
4		1時間	各種構造・材料	鉄骨造	
5		1時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1時間		基礎構造	
7		1時間		木造、その他の構造等、建築材料	

●構造設計1級建築士 総合 対策講座 (平成29年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
	5月開講				
1	5/17(水)	9:00~14:30	5.5時間	構造設計1 ガイダンス 倫理1・2(構造設計者の心構え 他) 構造力学(トラス/振動・剛性マトリックス 他) 災害1・2(地震と基準線の制定・改定)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
2	5/24(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計2 荷重(地震力/風圧力/積雪/土圧/特殊荷重)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した 講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 復習テスト
3	5/31(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計3 構造計画・構造設計1~5(構造的バランス、非構造材の耐震性 他) 建築材料(鋼材/コンクリート/木材) 木造1~5(N値法、壁量、床倍率 他)	
4	6/7(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計4 鉄骨造1~4(筋かいディテール、終局時 他) 鉄筋コンクリート造1~3(Ds算定時部材ランク、終局時 他) 鉄筋コンクリート造4(終局時の計算)	
5	6/14(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計5 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2(累加強度 他) 免震・制振・その他1~5(アイソレーター、ダンパー 他) 土質・地盤・基礎1・2(液状化、杭 他) 耐震診断・耐震補強	
6	6/21(水)	9:00~13:30	4.5時間	構造設計6 構造設計での黄色本活用・まとめ実践演習	
7	6/28(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1 ガイダンス 許容応力度計算1~4(荷重外力、応力計算、使用上の支障) 耐震二次設計1・2(RC造の耐震計算ルート 他) 保有水平耐力計算1・2(崩壊荷重の計算 他)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
8	7/5(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2 保有水平耐力計算3~5(S造・RC造の保有水平耐力計算) 基礎構造1~3(地盤、杭、直接基礎)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した 講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習 復習テスト
9	7/12(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3 鉄骨造1~5(許容応力度計算、保有水平耐力計算 他) 鉄骨造6・7(柱脚、冷間成形角形鋼管 他) 鉄筋コンクリート造1~3(剛性、靱性、ピロティ 他) 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2(耐力、各部の設計 他) 免震構造・制振構造(減衰 他)/限界耐力計算/非構造部材 経験記述(構造設計業務についての記述)	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了者問題を利用して行い、実戦力を高める
10	7/19(水)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了者(1) 平成29年度模擬修了者(1)(法適合確認)演習・解説 平成29年度模擬修了者(1)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり
11	8/2(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計7 平成25年度修了者(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了者問題を利用して行い、実戦力を高める
12	8/9(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計8 平成26年度修了者(構造設計)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
13	8/16(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計9 平成27年度修了者(構造設計)演習・解説	・講義の流れ 修了者演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
14	8/23(水)	9:00~13:30	4.5時間 (演習3h+解説1.5h)	構造設計10 平成28年度修了者(構造設計)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了者問題を利用して行い、実戦力を高める
15	8/30(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4 平成25年度修了者(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
16	9/6(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5 平成26年度修了者(法適合確認)演習・解説	・講義の流れ 修了者演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
17	9/13(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6 平成27年度修了者(法適合確認)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了者問題を利用して行い、実戦力を高める
18	9/20(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7 平成28年度修了者(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
19	10/4(水)	9:00~18:00	4時間(演習3h+解説1h) 4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了者(2) 平成29年度模擬修了者(2)(法適合確認)演習・解説 平成29年度模擬修了者(2)(構造設計)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了者問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

9月(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10/15(日)(予想) 構造設計1級建築士講習 修了者考査